

平成25年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

大分市立碩田中学校 氏名 (木元 杏)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

- ・自ら進んであいさつをして、たくさんの方たちをつくりたい
- ・中国の文化に触れ、日本の文化との違いを見つけたい

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

ホームステイの家族のみなさんから、本当に温かい歓迎をしてもらい、とてもうれしかった。私の事を「あんちゃん」と呼んでくれて、とても親近感がわきました。外国に友だちがいるのはいいなと思いました。

「もの」との出会い

1週間という短い間でしか、たくさんの中国料理を食べることができました。私は辛いものが苦手でしたが、食べ物は全て辛いものばかりではなかった。なので安心しました。

「こと」との出会い

武漢から車で片道4時間もかかる菜の花畑に行きました。菜の花畑は日本にもありますが、私が今回行った所はとにかく広くて辺り一面黄色で埋め尽くされていて、とてもきれいで感動しました。



2014/03

◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後に生かしたいこと

ホームステイ先の子は日本語で会話をしてくれましたが、ホームステイのお父さんとお母さんは日本語を話せない。その分英語で私には一生懸命伝えてくれると気づいてくれた。優しく、熱心に接してくれました。言葉が通いなくても相手に気持ちを一生懸命に伝えてくれることが大切だと思いました。

何か困っている人がいたら自分から進んで声をかけ手助けが出来るような人になりたいと思いました。

平成25年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

大分市立碩田中学校 氏名 (長屋 博斗)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

見聞を広げる

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

中国の方たちはみなさんとても優しくかったです。生徒たちともずらずらとまではいかななくても会話ができてすごいなあと思いました。

「もの」との出会い

中国の食べ物はとても印象に残りました。日本とは食材がかなりちがってびっくりしました。かえるを食べたりしたのも初めてだったけど、とてもおいしかったです。辛いものなどもとてもおいしかったです。

「こと」との出会い

一番びっくりしたのは寮生活のことです。シャワーを浴びる時に、温度の調節がとても難しくかったり、十分間しかお湯が出なかったり、何よりトイレとシャワーがつながっていたのは衝撃でした。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後にかきたいこと

この体験入学及びホームステイで世界の広さを学びました。やはりテレビなどで見るだけでなく、自聞は一見にしかずと言うように、自分の目で実際に見ることでたくさん学ぶことができました。あの建物の1つ1つの大きさや人の優しさなど、自分が感じたことを伝えていくことで、国と国との理解を少しでも深められるようにしたいと思います。

平成25年度武漢市学校交流事業 参加報告レポート

大分市立碩田中学校 氏名 (七五三葉^二穂^一)

◆ 参加に当たっての目標や心構え

言葉が通じなくても、ジェスチャーなどでのコミュニケーションをとる

◆ 印象に残った出会い

「ひと」との出会い

ホームステイ先の家族、学校の先生方が日本語に訳してくれたので、先生のみんなといろいろ話ができました。

「もの」との出会い

武漢には、先生の古い建物があり、中国の歴史に触れることができました。

「こと」との出会い

学校では日本ではなかったような、漢服を着ること、太極拳や寮に泊まることなど先生の身を体験させてもらいました。



◆ 体験入学及びホームステイを通して学んだことや今後にかきたいこと

私は人見知りですが、初めに会ったときは、なかなか話せなかったけど、中国の人は私たちに積極的に話しかけてくれた。そういう人たちと話していろいろ、初めに会ったときよりも、うに話せるようになった。これから初めに会った人に積極的に話しかけていきたい。